

平成28年度 行政評価表

所属部	教育推進部	所属課	生涯学習課	正職員数	22人	その他職員数	30人	電話番号 (内線)	055-983-0883 (内線6387)
-----	-------	-----	-------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	IV 協働で進める自立したまち
	基本方針	7 自治システムの充実したまちづくり
	施策名	46 男女共同参画の推進<男女共同参画>

年度	H28	H29	H30	H31	H32
予算額 (千円)	604				
決算額 (千円)	472				

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。

※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。

※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額

所管する施策の 方向一覧	IV-7-46-(1)あらゆる分野への男女共同参画の促進
-----------------	------------------------------

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	H31	H32
中央婦人学級の講座参加 延べ人数	女性リーダーとしての知識や教 養を身につけるため開催した講 座への参加延べ人数	目標	1,400人	840人	840人	840人	840人
		実績	1,564人				
		進捗状況	順調				
女性団体交流事業の実施 回数	市内女性団体の情報交換や知 識や親睦を深めるために実施 した事業の回数	目標	8回	8回	8回	8回	8回
		実績	8回				
		進捗状況	順調				
		目標					
		実績					
		進捗状況					
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	IV-7-46-(1)あらゆる分野への男女共同参画の促進
-------	------------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	中央婦人学級はここ数年学級生数が減少し、活動の低下が懸念されるが、平成28年度は開設50周年の節目の年ということもあり、学級生の意識も高まっているため、引き続き学級事業を盛り上げていくよう活動を支援する。 女性懇話会や女性グループ交流会においては、各団体間の情報交換と交流の機会・場を提供することで、地域や各団体内において積極的かつ主体的に活躍できる女性団体・女性リーダーとしての意識の向上を図るとともに、地域の活性化につなげていきたい。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	中央婦人学級は創立50年の集大成として、学級生がより興味、関心を持ち参加しやすい学習ができるよう活動を支援し、来年度以降につなげていく。 また、市内の各女性団体の交流を図るとともに各団体の活動内容を充実させるため、女性懇話会及び女性グループ交流会等を開催し、交流事業や合同研修事業を実施する。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	事業計画の各目標を達成できた。高齢化等による女性学級等への参加者及び女性団体自体の減少は続いているものの、女性の興味・関心の高いような講座テーマや、参加しやすい講座の開催に配慮した結果があらわれたものとする。 中央婦人学級では、開設50周年を機に、学級生・役員自らが組織・体制の再構築の検討に入ったため、市としてこの活動を積極的にサポートした。その結果、組織名称・体制・規約等の改正や学習グループの再編などの結論に至り、役員から学級生への説明責任も果たせていた。このことは、女性教育事業としての成果であると評価したい。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	中央婦人学級は、29年度から「中央女性学級」と名称変更し、新組織体制と再編学習グループで再出発する。組織再構築により申込者が増加し、継続学級生の意識も高まることが期待される一方で、学級生高齢化による活動力低下も懸念されるため、引き続き事務局として学級事業や各活動を支援していく。 女性懇話会や女性グループ交流会においても、各女性団体自体の縮小化傾向により活動の低下が懸念されるが、事務局としてサポートしていくことで、積極的かつ主体的に活躍できる女性団体・女性リーダーとしての意識向上を促し、活性化につなげていきたい。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 女性教育事業	1 中央婦人学級の開催	講座回数	目標	12回	12回	12回	12回	12回	維持	※29年度に組織名称が「中央女性学級」に改称。以降の手段・業務内容を一部修正する。
			実績	13回						
			達成状況	達成						
	2 中央婦人学級の開催	学級生数	目標	250人	200人	200人	200人	200人	維持	対象女性の高齢化の影響による減少傾向あり。学級再編でグループ学習団体が減少したための退会者も予想
			実績	260人						
			達成状況	達成						
	3 中央婦人学級の開催	講座参加延べ人数	目標	1,400人	980人	980人	980人	980人	維持	学級生の減少に伴い、講座参加延べ人数の目標値も減少とする。
			実績	1,564人						
			達成状況	達成						
4 女性懇話会の開催	講座回数	目標	4回	4回	4回	4回	4回	維持		
		実績	4回							
		達成状況	達成							
5 女性懇話会の開催	講座参加延べ人数	目標	120人	120人	120人	120人	120人	維持		
		実績	142人							
		達成状況	達成							
6 女性グループ交流会の開催	参加団体数	目標	6団体	6団体	6団体	6団体	6団体	維持		
		実績	6団体							
		達成状況	達成							
7 女性グループ交流会の開催	講座回数	目標	4回	4回	4回	4回	4回	維持		
		実績	4回							
		達成状況	達成							
8 婦人学級の委託	委託団体数	目標	2団体	2団体	2団体	2団体	2団体	維持	※29年度以降は指標活動を「学級委託数」に変更。28年度から目標を適正処理→2件に修正	
		実績	2団体							
		達成状況	達成							
9 婦人学級の委託	委託金額	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持		
		実績	210,000円							
		達成状況	達成							

